

森林整備Ⅱ

里山保全活動

里山の手入れ（実習）

日時：平成27年11月7日（土） 10:00～15:00

講師：戸丸 信弘（名古屋大学大学院生命農学研究科教授）

概況



科目名：森林整備Ⅱ

里山保全活動・里山の手入れ（実習）

講師：名古屋大学大学院生命農学研究科 戸丸 信弘教授

○第1時限 10時から12時まで 座学

・今回の森林整備Ⅱの講義内容は、

- 1) 生物多様性とその危機
- 2) 里山の生物多様性の減少
- 3) 東海地方の里山保全のために注目されるシデコブシ
- 4) シデコブシの生態的・遺伝的特徴
- 5) シデコブシの保全による里山保全

であった。

・生物多様性には、種の多様性、遺伝子の多様性、生態系の多様性あり、里山の象徴種であるシデコブシにも地域ごとに多様性があり、また遺伝子の多様性、さらにシデコブシを含めた里山という生態系にも多様性があることを調査と解析から講義をなされた。

・講義のまとめとして、保全活動を行う上で、常に念頭におくべきこととして「シデコブシさえ守ればよいということではなく、シデコブシの保全を通して、里山全体を保全することが本来の目的であり、他の動植物にも気を配る」ことの重要性が示された。

○第2時限 13時から15時 実習

・シデコブシが自生しているが、全体としてシデコブシの生育が不適切となりつつある沢沿いで実際に森林の整備を行った。

・伐採対象木は、主に常緑樹であるソヨゴ、ヒサカキ、ネズミサシなど。

・実習後、午前中のまとめでも述べられた「シデコブシさえ守ればよいということではなく、シデコブシの保全を通して、里山全体を保全することが本来の目的であり、他の動植物にも気を配る」ことの重要性が再度強調され、一層、実感できた。